

今年も獨協祭に展示参加しました

開催日：2019年9月21日(土)～22日(日)

展示した資料をご紹介します

メインテーマは、獨協と金栗四三です
天野貞祐先生と同時代を駆け抜けました！

年 表 1

獨逸学協会創立	1881(明治14年)	
獨逸学協会学校創立	1883 10 22	
天野貞祐 誕生	1884 9 30	
	1891 8 20	金栗四三 誕生
第1回オリンピック開催(アテネ)	1896 4 6～	
天野貞祐 獨協中学 入学	1897 4	
第2回オリンピック開催(パリ)	1900 7 14～	
日英同盟 調印	1902 1 30	
日露戦争勃発	1904 2 8	
第3回オリンピック開催(セントルイス)	1904 8 20～	
	1905 3 4	金栗信彦 死去(四三の父)
	1905 4	県立熊本中学 玉名分校入学
日本海海戦に勝利(日露戦争)	1905 5 27	
日露戦争終戦(日露講和条約批准)	1905 10 14	
天野貞祐 獨協中学 卒業	1906 3	
第4回オリンピック開催(ロンドン)	1908 7 13～	
(明治41年)	1909 9	海軍兵学校入試不合格
	1909 10	東京高等師範学校入試(熊本にて)
	1910 4 10	東京師範に入学(熊本県から4名)
		校内長距離走で 25位/600名(新入生は150名)
韓国併合 朝鮮總督府を設置	1910 8 29	
	1910 10	校内長距離走で 3位(予科生初)
		嘉納治五郎校長からの賞賛に感激
	1911 4	東京高等師範 本科へ進学・徒歩部入部
		校内長距離走で優勝
第5回オリンピックに初参加する目的で 大日本体育協会が設立される(嘉納治五郎)	1911 7	
	1911 11 19	羽田に新設された競技場(京浜電気鉄道の協力)でオリンピック予選会に出場
	1912 2 15	大日本体育協会(JOC)から金栗四三と三島弥彦が代表選手に推薦される
	1912 5 16	18:30 新橋駅 発 敦賀・シベリア鉄道經由にてストックホルムを目指す
	1912 6 2	ストックホルム到着
第5回オリンピック開催(ストックホルム)	1912 7 6～	金栗は国名(NIPPON)プレートを掲げ三島は旗手
(明治45年)		
	1912 7 14	13:30 マラソン競技スタート 68選手が出場 金栗四三は27km地点手前で意識不明となり 農家ベトレ家が手厚く看病する=途中棄権 捜索に来た駐在武官：林 中佐らに付き添われ 宿舎へ戻る 優勝はマッカーサー選手(南アフリカ) ラザロ選手(ポルトガル)は熱中症のため死亡 34選手が完走
	1912 7 19	閉会式を待たず帰国の途へ デンマーク、ドイツ、イギリス、フランスの体育事情を視察
明治天皇 崩御	1912 7 30	
	(大正元年)	

年表2

	1912 8 11	宮崎丸(日本郵船)に乗船しマルセイユを出帆
	1912 9 18	宮崎丸 神戸入港
	1912 9 19	金栗四三ら、東京着
	1913 4	東京高等師範 徒歩部室長を拝命
	1913 7	館山(千葉)北条海岸にて耐暑訓練
	1913 7 25	金栗の提案で第1回富士登山競走開催
	1913 11 1	第1回日本陸上競技選手権マラソン優勝 2時間31分28秒(世界最高記録=非公認)
徳川慶喜 没	1913 11 22	
	1914 4 8	春野スヤとお見合い
	1914 4 10	結婚(四三 23歳 スヤ 22歳)
	1914 4 15	スヤを残して帰京
	(大正3年)	その後、全国の師範学校を回りオリンピックや 体育教育、マラソンの普及活動
	1914 7 10	館山にて耐暑訓練(～9月10日)
第一次世界大戦勃発	1914 7 28	
パナマ運河開通	1914 8 15	
	1914 11 22	第2回日本陸上競技選手権 25マイル(40km)マラソン優勝 2時間19分20秒(世界最高記録=非公認)
	1915 11 20	第3回日本陸上競技選手権マラソン優勝
第6回オリンピック(ベルリン)は中止が決定	1916 1	
	1916 4	神奈川師範学校(鎌倉)に奉職 地理・歴史
	1916 9	「ランニング」を出版(明石和衛と共著)
	1917 4 27	東海道五十三次駅伝競走を開催
宮崎丸 独潜水艦に雷撃され英国南岸に沈没	1917 5 31	
	1917 7 22	第2回富士登山競走 これに先駆けて御殿場 にて合宿(高地トレーニングの最初)
ロシア革命の後 ソヴィエト共和国樹立	1917 11 9	
(大正7年)	1918 4	獨逸学協会中学校に奉職(月給45円)
第一次世界大戦終戦	1918 11 11	
	1918 11 17	東京-横浜 往復(80km) 駅伝競走開催
	1919 3 21	第1回 中学校 東京-横浜 駅伝競走開催 18校が参加 1位は青山師範(鎌倉) 獨協は2位
ハリマヤがゴム底の足袋「金栗足袋」を発売	1919 4	
	1919 7 22	下関→東京駅伝競走(20日間かけて)
	1919 11	日光→目白 駅伝競走 獨協生は10区間・東京高師は5区間 金栗四三は単独130kmを20時間かけ走破
	1920 2 14	第1回箱根駅伝 東京高師・早稲田・慶応・明治の4校が出場

年 表 3

(大正9年)	1920 4	アントワープ五輪 国内予選に優勝 2度目のマラソン代表選手に決定
第7回オリンピック開催(アントワープ)	1920 8 20～ 1920 8 22	マラソン競技スタート 2時間48分45秒で16位 (日本人最高)
天野貞祐 「純粋理性批判 上巻」刊行 (カント著の翻訳)	1921 1 1921 2 1921 9	東京女子師範学校に奉職 東京女子師範学校にて第1回女子テニス大会
関東大震災(大正12年)	1922 5 20	福島県 須賀川町にて東京7大学駅伝開催 「体力・気力・努力」の重要性を説く
天野貞祐 ハイデルベルク大学に留学中	1922 5 27	陸軍外山学校グラウンドにて 第1回女子連合競技大会開催
日本女子体育協会 発足	1922 8 1923 9 1	樺太⇒東京を20日間で走破
第8回オリンピック開催(パリ)	1924 3 1924 5	パリ五輪 国内予選に優勝 3度目のマラソン代表選手に決定
天野貞祐 京都大学文学部助教授に就任 大正天皇崩御	1924 5 4～ 1924 7 12	マラソン競技スタート 途中棄権し現役引退を決意
第9回オリンピック開催(アムステルダム)	1926 8 19 1926 12 25 (昭和元年)	
内村鑑三 死去 (昭和5年)	1928 5 17～	
天野貞祐 「純粋理性批判 下巻」刊行	1930 3 28 1930 3 1930 7 1931 1 1931 3 1931 8	女子師範を辞職 高等女子師範学校に奉職 長兄 実次が急性肺炎で死去 東京女子高等師範を辞職 玉名に戻る決意 東京高師後輩 栗本義彦と九州一周を20日間
東京オリンピック(第12回)招致活動始まる 満州国建国	1931 10 1932 3	
第10回オリンピック開催(ロサンゼルス)	1932 6 30～	
天野貞祐 「人格と自由」刊行 日本は国際連盟を脱退 天野貞祐 学位論文 「純粋理性批判の形而上学的性格」刊行	1933 1 1933 3 27 1935 10	
二・二六事件	1936 2 26	
第11回オリンピック開催(ベルリン)	1936 8 1～	
東京オリンピック(第12回)開催が決まる	1936 11 1936 12	嘉納治五郎からの要請を受け オリンピック開催準備のために上京
天野貞祐 「道理の感覚」刊行	1937 4 1937 7 10	東京十文字女学校に奉職

年 表 4

盧溝橋事件 日中戦争始まる	1937 7 7 (昭和12年)	
国家総動員法公布	1938 2	日本女子陸上優秀選手を連れ台湾遠征
嘉納治五郎 急死(カイロ IOC総会の帰路)	1938 4 1	
東京オリンピックの中止が決まり ヘルシンキに	1938 5 4	
ドイツ軍がポーランドに侵攻	1938 7 16	
第二次世界大戦勃発	1939 9 1	
真珠湾攻撃 太平洋戦争勃発	1941 3	十文字女学校を辞して青葉女学校に奉職
天野貞祐 一高校長に就任	1941 12 8	
第1回国民体育大会開催	1945 3	青葉女学校を辞して玉名へ戻る
第1回熊本県民体育祭開催	1946 2 9	
箱根駅伝復活	1946 4 1	熊本県体育会発足 初代会長に就任
	1946 10	
	1946 11	
	1947 1	
	1947 12 7	第1回金栗朝日マラソン(熊本)開催 (現 福岡国際マラソン)
第14回オリンピック開催(ロンドン)	1948 7 29～	
天野貞祐 第三次吉田内閣文部大臣に就任	1950 5 6	
天野貞祐 国民実践要領を提唱	1951 11 14	
第15回オリンピック開催(ヘルシンキ)	1952 7 19～	
天野貞祐 獨協中高の校長に就任	1952 12 27	
	1953 4 19	四三が監督を務めたボストンマラソンにて 山田敬蔵が世界新記録で優勝
第16回オリンピック開催(メルボルン)	1955 11 3	紫綬褒章 受勲(スポーツ界初)
馬術はストックホルム開催(1956 6 10～)	(昭和30年)	
第17回オリンピック開催(ローマ)	1956 11 22～	
	1960 8 25～	
	1960 10 23	第15回国民体育大会(熊本)にて 炬火リレー最終走者
天野貞祐 獨協大学開校し初代学長	1961 11 3	勲四等旭日双光章 受勲
第18回オリンピック開催(東京)	(昭和41年)	
	1962 12	熊本県玉名市 名誉市民
	1964 4	
	1964 10 10～	
	1965 11 10	秋の園遊会にスヤ夫人と出席
	1967 3 21	ストックホルム五輪55周年記念式典に招待され 54年8ヶ月6日5時間32分20秒のタイムでゴール
天野貞祐 勲一等旭日大綬章 受勲	1972 1 30	日本初の女子駅伝 熊本で開催
	1973 11 3	
天野貞祐 95歳にて永眠	1980 3 6	
	(昭和55年)	
	1983 11 13	金栗四三 92歳にて永眠
	(昭和58年)	

金栗四三先生を偲び熊本に飛びました

今年の大河ドラマが始まってまもなく、金栗四三は獨協の教諭だった事を知りました
3月には、文京シビックホールにて特別展示が開催されました
そこで、徳永慎二氏に巡り合います
彼は、熊本県玉名市役所に勤務する「金栗四三PR推進専門官」でした
話が弾むうちに深まる興味は、私を玉名市へ誘いました

金栗四三先生は、天野貞祐先生と同時代に活躍しました
その時代は、近代日本のはじまりと激動の時代です



九州新幹線 新玉名駅前にて、徳永慎二氏(右側)と共に



新玉名駅に立つ 金栗四三



金栗四三先生の墓碑 自らのランニング経験から 説いた座右の銘
「体力 気力 努力」の文字が刻まれています



金栗四三の生家と
水をかぶった井戸



金栗四三の生家



金栗四三の生家



ストックホルム五輪では約27km地点で
熱中症に倒れ、付近の農家
ペトレ家で手厚い看病を受けた
その際提供されたのはシナモンパンと
ラズベリージュースだった



金栗四三の生家に育つシナモンの木



晩年まで過ごした
池部家



池部家の井戸

金栗四三は井戸水をかぶることが日課であった

池部家に展示されている数々の記録



四三が晩年まで暮らした 池部邸
玉名市役所 徳永氏 と レポーター 沖山秀司 (S49)



幼いころの家族
後列右が、長兄 実次か



東京高等師範学校に入学した頃



東京高等師範
東京高等師範運動会
昭和4年（1929）11月



日本が初めて参加したオリンピック（第5回ストックホルム）
金栗四三はプラカードを持ち 三島弥彦が国旗を
金栗は足袋を履いています。



「なんでも鑑定団」でも紹介された 金栗四三が履いた足袋



第5回オリンピック(ストックホルム)を終え、金栗四三らがマルセイユから
乗船した 日本郵船 宮崎丸

総トン数8,520トン 垂線長141m 幅17m 喫水10m 航海速力15ノット
建造:三菱造船長崎

第一次世界大戦中 ドイツ潜水艦に雷撃され英国沖で沈没



嘉納治五郎校長との記念写真
東京高等師範学校 卒業のころか



大正7年11月17日 横浜往復駅伝競走 スタート前の記念写真
東京高等師範学校グラウンドにて
襷をかけている3名が第1走か

大正10年卒 黒田 要 さんの手記(抜粋・一部改編)

獨協100年 誌 より

私が獨協へ入学したのは大正5年である。その時 兄は獨協の2年生であった。父も獨協卒で、その頃 獨協は麹町にあったが、私たちの時は小石川区の関口台町で、坂を上りつめた右側である。三男・四男の弟たちも獨協である。父は獨協 → 一高 → 帝大医学部とエリートコースを歩んだが、私はマラソンばかりやっていて、ちっとも勉強しなかったので高校受験は諦めて日本医学専門学校(現 日本医科大学)に入学し、大正15年3月に卒業し医師になった。

当時の校長は、医学・薬学博士の長井長義先生で、卒業式 入学式などには2頭立ての馬車で校門に乗り付け、金ピカの大礼服を着てお降りになるのを皆で迎えた。

大正7年に地理の先生として 金栗四三先生が来られた。あだ名は「金仏様」授業中は右手に竹刀、左手に本を持って、机の間を絶えず歩きながら講義をされたので、ぼんやりしていたり、隣の者と話でもしようものならいきなり竹刀が頭上にポカリと飛んできた。

陸上部(当時は徒歩部)は金栗四三先生が就任されてから急に強くなり活躍するようになった。毎日放課後は金栗四三先生の後についてマラソン練習を行った。毎日のように 獨協 → 学習院 → 哲学堂 まで往復した。大正8年には 宇都宮 → 獨協 100里駅伝競走も行った。

大正9年3月に、第1回都下中等学校対抗駅伝競走(日比谷⇄横浜)が金栗四三先生の肝いりで開催された。出場選手は6名、私は2区を走った。獨協優勝の呼び声が高かったが3位だった。金栗四三先生は、『ヨカヨカ』と慰めてくれた。競走が終わって、高等師範の寮に行き、金栗四三先生が芋と大福餅を買って来て、高等師範のマラソン選手 島山さん、栗本さん達と慰労会をやってくれた事が今でも私の心に浮かんている。

18校が参加した結果は次の通り

1位 青山師範 4h8m3s	2位 立教中学 4h9m50s	3位 獨協中学 4h11m3s
4位 豊島師範 4h13m26s	5位 早稲田実業 4h15m55s	6位 荏原中学 4h24m58s
7位 攻玉社中学 4h26m23s	8位 日本大学中学 4h26m30s	9位 開成中学 4h28m28s
10位 錦城中学 4h30m	11位 大成中学 4h34m52s	12位 海城中学 4h38m15s
13位 明治学院中学 4h38m50s	14位 赤坂中学 4h46m54s	15位 正則中学 4h50m35s
16位 高輪中学 5h3m3s		

途中棄権: 郁文館中学、京北中学、



黒田 要さん (Tio卒) の手記をご紹介します

大正7年11月17日 横浜往復駅伝競走 スタート前の記念写真

東京高等師範学校グラウンドにて

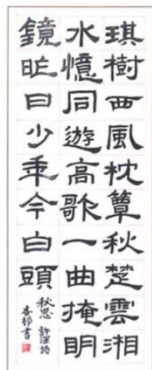
獨協生は5 km/1区間 高師生は10 km/1区間

神山一郎さん (S20-5卒) の作品を展示しました

神山一郎 卒寿をすぎての個展

去る2月24日、私は元気に91歳の誕生日を迎えることができました。是は偏に皆様方のお蔭と心より感謝しております。つきましては、余暇に楽しんでおりました、刻字、篆刻、書、他の近作を、拙いものですが展示いたします。お忙しいことは存じますが、何卒ご高覧の上ご批判ご指導賜りますようお願い申し上げます。

平成31年4月吉日



秋思 許渾詩

(自宅) 〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-5-37



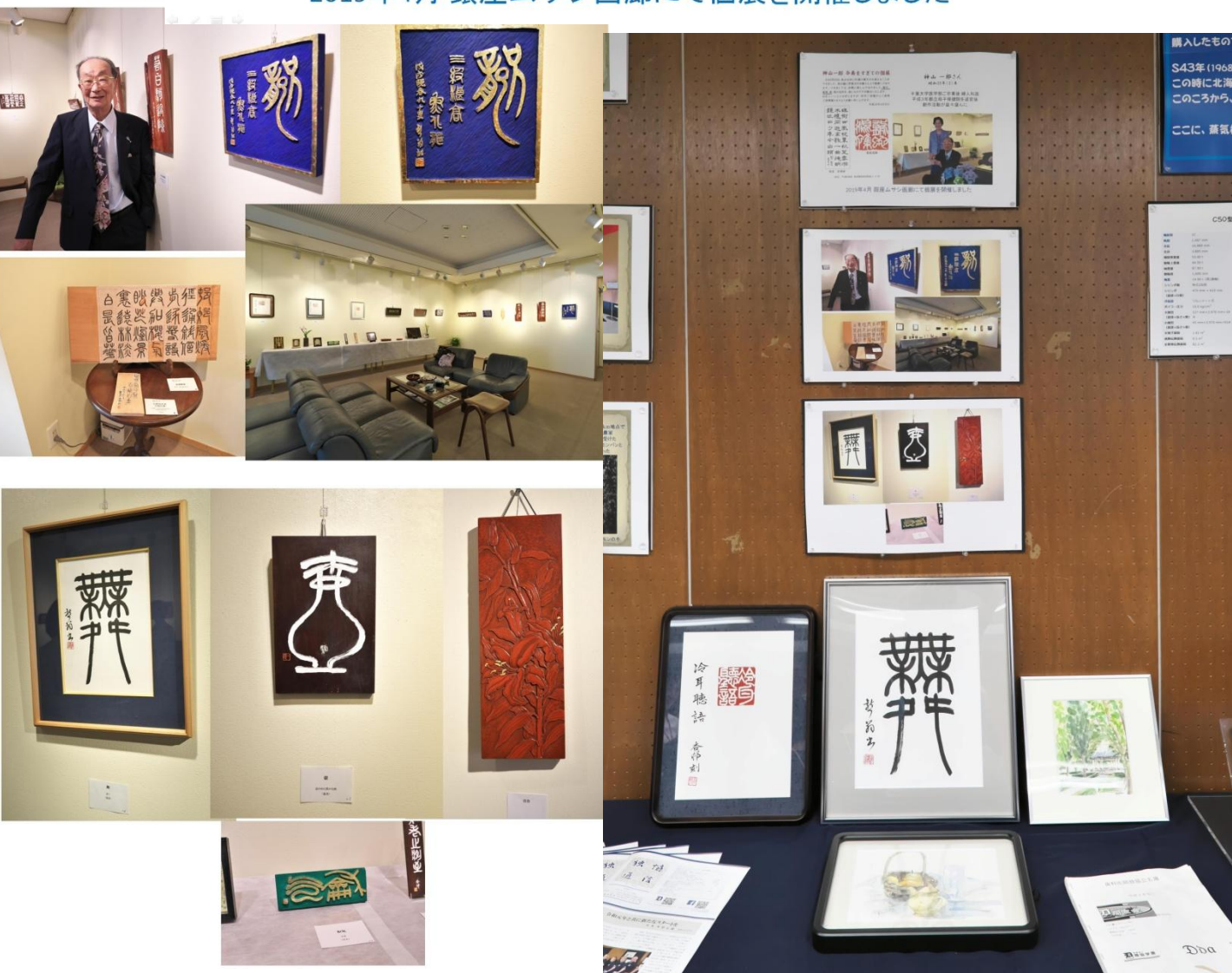
龍蛇混雜

神山 一郎さん 昭和20年(5)卒

千葉大学医学部ご卒業後 婦人科医
平成3年都立母子保健院を退官後
創作活動が益々盛んに



2019年4月 銀座ムサシ画廊にて個展を開催しました



独協ぶらり旅

卒業生が営むお店情報

今年は3件ご紹介します

押上よしかつ

〒130-0002 東京都墨田区業平5丁目10-2
03-3829-6468

<https://goo.gl/maps/g1qxHYS9zYZsQAXy6>



by google map



多摩のお酒から伊豆七島の焼酎まで揃っています！

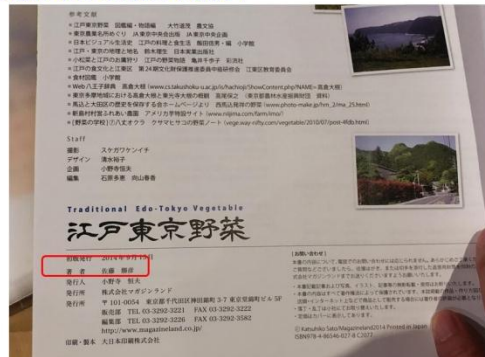
佐藤 勝彦さん

昭和62年卒(1987)

鉄研OB

日本獣医畜産大学畜産学部に進学、食に興味をもち27歳でお店を経営、今日に至る
NPO江戸東京野菜コンシェルジュ協会に所属
江戸(東京)の食材・酒にこだわり、提供されるメニューは調味料も含め全て江戸産
「お好み焼き」のお店ですが、老若男女楽しめる居酒屋さんです

伊豆七島から届くお刺身も最高！



左から 沖山 新井 佐藤氏 奥様 谷田貝
2019年 6月27日に取材



記：沖山秀司 (S49卒)

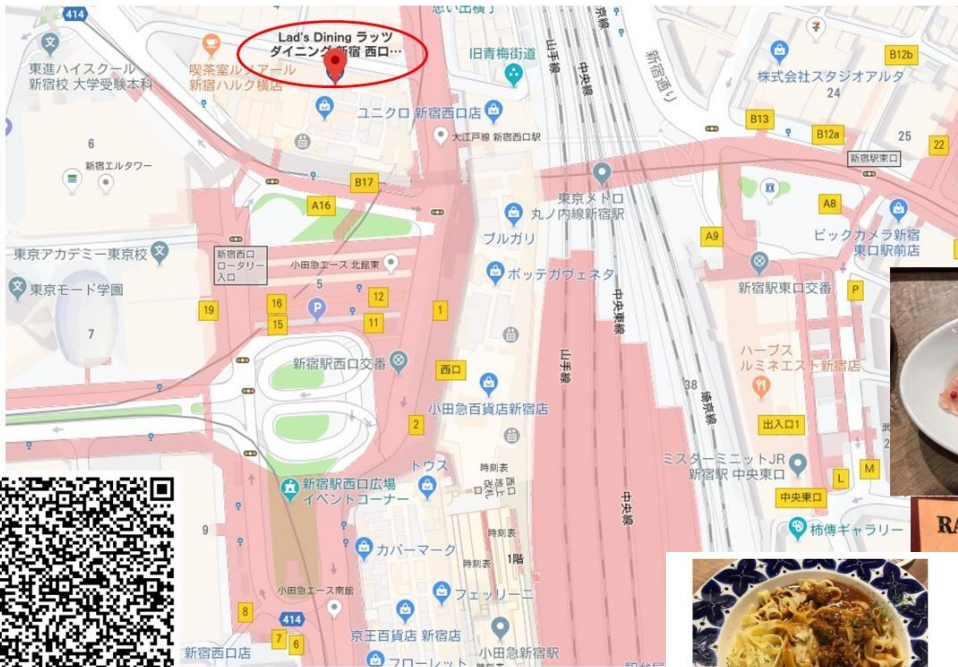


ご主人自ら焼いて頂けます
もんじゃもあります
イカ墨焼きそば！

「Lad's Dining ラッツダイニング 新宿西口ハルク店」

〒160-0023 新宿区西新宿1-5-1 新宿西口ハルク MB3

03-6279-0027



by google map



RAW HAM FREE REFILL
何處でもおかわり



石窯 (500℃) で焼き上げたpizza



小林 貴志さん 硬式テニス部08
平成2年卒(1990)

両親のすすめで獨協中学へ入学

テニス部では都大会、全国大会へ出場！

現在20店もの飲食店を管理する若き経営者です

大学卒業後 ムラサキスポーツに就職、その後ご両親の影響で

「プロント飯田橋店」を皮切りに、飲食店経営がスタートしました

「Lad's Dining」は明るい照明と、笑顔で接客する従業員で活気にあふれていました



左から 木原会長 (S47) 盛田 幹さん (H2) 小林 貴志さん (H2) 谷田貝副会長 (S51)

2019年5月30日に取材

記：谷田貝 茂雄 (S51)

N cafe diner & MUSIC PUB

〒108-0075 東京都港区港南1丁目9-32 アレア品川別館207

03-6718-2466

<https://goo.gl/maps/sq54rVQaWpprWkUP6>



成川 龍男さん

昭和41年卒（1966）

JR品川駅港南口駅前、店内はカウンター席・テーブル席の洒落たお店です
昼のランチタイムにはパスタ、うどん、カレーなどで近隣の会社員に好評です
夜は夜景が綺麗なカウンター席が好評です

日清製粉と共同開発した味の「ざるうどん」は逸品です！



記：中村昭美 (S41卒)

成川龍男君は昭和35年獨協中学入学
家庭教師に勤められて獨協を目指しました

中学3年間は主管：横山武人先生の教鞭
を受け、高校3年間は工学部に進学する
目標に励み、法政大学工学部へ



2019年8月2日の取材
木原同窓会長以下10名で押しかけました



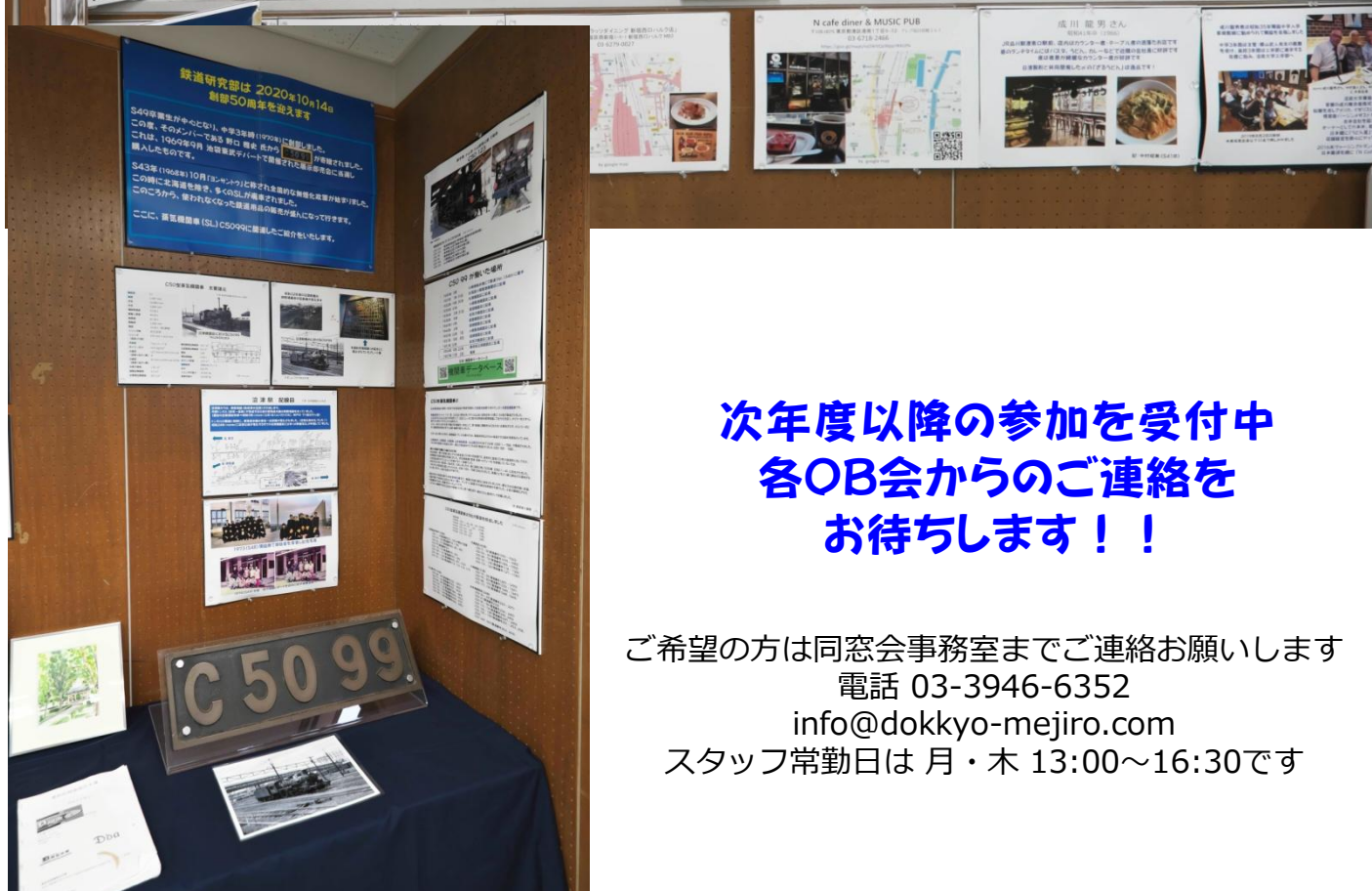
(右から) 成川龍男さん、中村直人さん、中村昭美さん、以上同級生
と木原会長

法政大卒業後は
家業の成川軽合金株式会社へ入社
転職を志しアメリカ、イギリスに店舗経営の留学
帰国後バージンメザストアと丸井の
合併会社を設立
オーナーとして六本木、新宿店を開店
日本橋に「うどん屋」も開店し
店舗経営を熱心にやって来ました

2016年ヴァージンアトランティック航空の
日本撤退を機に「N Cafe」と改名

OB会の活動紹介

ドクターズクラブ 歯科医師獨協会 サッカー部 鉄道研究部

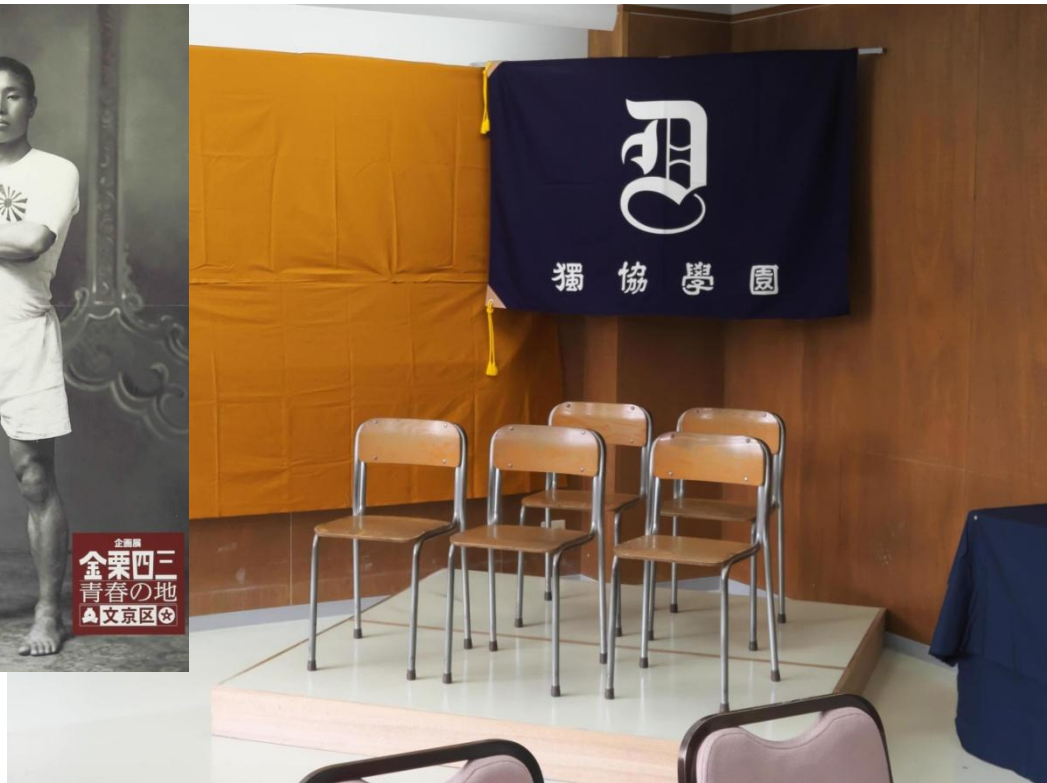


**次年度以降の参加を受付中
各OB会からのご連絡を
お待ちしております！！**

ご希望の方は同窓会事務室までご連絡をお願いします
電話 03-3946-6352
info@dokkyo-mejiro.com
スタッフ常勤日は 月・木 13:00~16:30です

記念写真 スピードサービス

ミラーレス一眼で撮影 PCに取り込んで
2Lサイズでプリントし その場で提供します



獨協祭

獨協中学校・高等学校 同窓会 2019 SEP 21

2日間で175枚プリントしました



獨協グッズ

今年の獨協祭でも好評でした！！

- ポロシャツ : 2019年 新作がデビューしました(色=インディゴ or ホワイト)。
S・M・L・XL・XXL ございます。
2018年モデルは在庫限り(M・L が少々)です。
- 三色ボールペン : 2019年 獨協祭でデビューしました。
- ピンバッチ&カフスボタン : 2018年デビューです。
- 野球部応援グッズ : Tシャツ&キャップ 2018年デビューです。



ご希望の方は同窓会事務室までご連絡をお願いします
電話 03-3946-6352

info@dokko-mejiro.com

スタッフ常勤日は 月・木 13:00~16:30です

会場風景

